

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 5年 3月 13日

事業所名 療育支援ルーム ポンディ

|             |   | チェック項目   | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | 工夫している点  | 課題や改善すべき点を踏まえた<br>改善内容又は改善目標   |
|-------------|---|--|----|---------------|-----|--|--|
| 環境・<br>体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である                              | ○  |               |     | プログラム内容によって、子ども達が集中できるようにパーティション等使用しながら、場面に応じた環境設定をしようとしている。       | 基準以上の広さは確保しているが、運動を行う際には少し狭さも感じる。そのため、屋外での活動も視野に入れ、子ども達が思いっきり体を動かすことができるように工夫していきたい。 |
|             | ② | 職員の配置数は適切である   | ○  |               |     | 配置基準を守り、運営することができる。  |  |
|             | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている                       | ○  |               |     | パーティションのレール等、小さな段差はあるがほぼバリアフリーになっており、肢体不自由児の在籍もないため不便さはない。         |  |
| 業務改善        | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している            |    | ○             |     | 毎日活動の話し合い、前日の活動の振り返りを行っている。その中で、プログラムの改善点の検討、児童の様子を確認し、支援方針を考えている。 | ケース会が不定期となっているため、毎日の振り返りの場以外にも児童の支援方法について検討する会議を定期的に行っていく。                           |
|             | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○  |               |     | 評価表だけでなく、日々の連絡帳等を活動し、保護者の意向を把握するよう努めている。何かご意見があった場合には至急対応している。     |  |
|             | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している                       | ○  |               |     | 評価表の結果を法人のホームページに公表している。   |  |
|             | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている                         |    |               | ○   | 外部評価の実施はしていない。   | 外部評価は実施していないが、面談時等保護者の意見を参考にし、活動内容の工夫をするように努めている。                                    |
|             | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している                            | ○  |               |     | 関心のある研修や経験年数によって法人内、外部の研修を受けている。受けた研修は、報告書にまとめ他の職員への共有も行っている。      |  |

|          |   |  |   |   |  |  |  |
|----------|---|--|---|---|--|--|--|
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | ○ |   |  | 年2回の保護者との面談や日々の送迎、連絡帳、電話等にて情報収集をしている。また、学校からの評価表も参考にし、客観的目づ統一した支援ができるように努めている。                                       |  |
|          | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している                   |   | ○ |  | 標準化されているアセスメントシートを使用し児童の情報収集をしている。   | 年度途中の適応行動の状況を図る際には、アセスメントシートを使用して検討することが少なくなってしまう。定期的にケース会議を開催し、根拠のある分析をもとに支援に当たれるように心掛ける。 |
|          | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っている                                       | ○ |   |  | 職員全員で毎月、月案会議を開催しプログラムを立案している。また、当日の出欠状況によってはプログラム内容を変えて提供をしている。  |  |
|          | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している                                     | ○ |   |  | 職員全員で毎月、月案会議を行い、振り返りも行うことで、プログラムが固定化されないように工夫をしている。また、同じプログラムでもルールや提供の仕方を変えることで児童を飽きさせないようにしている。                     |  |
|          | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している                         | ○ |   |  | 休日や長期休暇時のサービス提供時間が長い日にしかできないプログラムを期間中は提供できるように工夫している。平日に関しても、限られた時間の中で児童の課題に沿った活動が提供できるように、状態像別に活動を分けてサービスの提供も行っている。 |  |

|   |   |   |   |  |   |  |
|---|---|---|---|--|---|--|
| ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している                       | ○ |   |  | 児童の状態や課題によっては、集団では支援できない場合は個別にて対応を行い、各児童の課題に沿った支援の提供ができるように努めている。                         |  |
| ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している                        | ○ |   |  | 毎日支援前に、ねらい、1日の流れ、体制等の確認を行っている。また、前日の児童の様子を振り返り支援時の留意点についても共有するようにしている。                    |  |
| ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している                   | ○ |   |  | 送迎時間等の関係で、当日は時間がないため、次の日に全職員で振り返りを行っている。  |  |
| ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている                               | ○ |   |  | 当日中に、特記事項の全体確認を行っている。また、ケース記録の記入に関しては、次の日の午前中までには行っている。特記事項については活動の確認時に職員全体で支援方針の検討をしている。 |  |
| ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している                             | ○ |   |  | 半年に1回のモニタリング面談を実施している。また、必要に応じて年度途中の計画の見直しにも対応している。                                       |  |
| ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている  | ○ |   |  | ガイドラインを基に、全体のプログラムを組み立て必要に応じて個別での対応も行っている。  |  |
| ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                     |   | ○ |  | 相談支援事業所とは、定期的に情報の共有をしている。   | 各関係機関が集まり担当者会議の開催をしたことがまだない。必要に応じて、自らが積極的に声をかけ担当者会議を開催していくことも検討する。 |
| ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | ○ |   |  | 基本的には、保護者を通して、情報共有をしている。  |  |

|                              |  |   |   |  |  |  |  |
|------------------------------|--|---|---|--|--|--|--|
| 関係機関や保護者との連携<br>関係機関や保護者との連携 | ②②                                       | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている                         |   |  | ○  |  | 医療的ケア児の受け入れは行っていない。今後も、受け入れ予定はない。  |
|                              | ②③                                       | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている            |   |  | ○  | 児童発達支援センターの担当と引継ぎを行うようにしている。今年度は、対象児童がいなかったため行っていない。 | 児童発達支援センターとは引継ぎを行っているが、該当の保育所や幼稚園とは情報共有を行ったことがないため、今後対象児童が出た場合は、積極的に連絡を取り情報共有ができるように努める。 |
|                              | ②④                                       | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している |   |  | ○  |  | 在籍児童が小学生であり、卒業生はまだいないため、移行時の支援内容の引継ぎ等を行ったことはない。  |
|                              | ②⑤                                       | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                      |   |  | ○  | 当事業所通所前の未就学期の情報提供、助言は受けている。                          | 研修時間の都合で参加することができていない。今後、研修を受ける機会があれば受講していきたい。   |
|                              | ②⑥                                       | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある                              |   |  | ○  |  | 周辺にそのような機関がない。また、現在はやり取りをしている場所もなく、関係性の構築が今後の課題として考えている。                                 |
|                              | ②⑦                                       | (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している  |   |  | ○  |  | 参加はできていない。児童発達センター主催の連絡会などには参加している。  |
|                              | ②⑧                                       | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                    | ○ |  |  | 送迎時の引継ぎや連絡ノート、保護者の言葉にも共感・助言するように努めている。               | 必要に応じて電話やメールを介して、児童の状況や家庭の悩み等の相談にも応じ、共通理解をするように努めている。また、助言も積極的に行っている。                    |
|                              | ②⑨                                       | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている                   |   |  | ○  | 保護者勉強会を年2回開催し、保護者と将来のイメージの共有を図った。                    | 保護者勉強会を開催することはできたが、ペアレント・トレーニングの支援をすることができなかった。まずは、勉強会を定着させ、その後ペアレント・トレーニング支援も検討していく。    |
|                              | ③⑩                                       | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている                                  | ○ |  |  | 利用契約時に、契約書、重要事項説明書、その他書類に基づいて対面での説明を行っている。           |  |
| ③⑪                           | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○   |   |  | 日々の連絡ノートでの相談だけでなく、送迎時、面談時等に家庭の様子を伺い必要に応じて、助言や支援を行っている。 |  |  |

|            |                                    |  |   |   |   |   |
|------------|------------------------------------|--|---|---|---|---|
| 保護者への説明責任等 | ③②                                 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                       | ○ |   | 年2回、保護者勉強会を開催し、ライフステージ毎の役割や今後の将来像についてのイメージの共有ができるよう努めた。   | 新型コロナウイルス感染の観点から、予定していた勉強会後の茶話会を開催することができなかったため、保護者同士の関わりを深められる機会を設けることができなかった。 |
|            | ③③                                 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ |   | 利用契約時に、苦情解決受付担当者、責任者の設置について対面で説明をしている。今年度、特に苦情はなかった。  |   |
|            | ③④                                 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                   | ○ |   | 定期的に、活動の予定や活動の様子が分かるようなおたよりを配布した。   |   |
|            | ③⑤                                 | 個人情報に十分注意している  | ○ |   | 利用契約時に配布している、個人情報使用同意書、写真掲載承諾書に基づいて使用をしている。   |   |
|            | ③⑥                                 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている                                | ○ |   | 児童とのコミュニケーションに関しては、それぞれが受け取れる方法でやり取りを行っている。保護者とは、できる限り対面でのやり取りを心掛け、必要に応じてメールや電話で日々の情報を共有できるようにしている。 |   |
|            | ③⑦                                 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている                                 |   | ○ |   | 新型コロナウイルス感染の関係で、企画はしていない。また、地域柄周辺に地域住民がおらず招待することが難しい。また、事業所の規模も大きくないため検討が必要。    |
|            | ③⑧                                 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している                    |   | ○ |   | 緊急時対応マニュアルを策定し、利用契約時に配布している。  |
| ③⑨         | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○  |   |   | 年2回、事業所内で火災・地震を想定した避難訓練を実施している。また、代表の職員は年2回、ビル全体の避難訓練にも参加をしている。                                     |   |

|         |    |  |   |   |  |   |  |
|---------|----|--|---|---|--|---|--|
| 非常時等の対応 | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | ○ |   |  | 法人内で虐待防止研修を実施し、全職員受講している。研修内において、事業所の支援の見直しを考える時間も設けている。  |  |
|         | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | ○ |   |  | 審議記録、やむを得ず身体拘束を行うことについて記載した書類を法人に提出し、承諾を受けている。また、個別支援計画にも記載し、面談時に保護者にも説明書を用いて丁寧な説明するよう心掛けている。緊急やむを得ず身体拘束を行った際には、サービス提供記録、ケース記録にも残す手順をとっている。 |  |
|         | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている   |   | ○ |  | アセスメントシートを用いて、保護者より情報収集している。調理活動や初めて提供するおやつ等があった場合には、事前に保護者にお知らせを配布・確認し個別での対応をしている。   | アレルギー対応は行っているが、医師の指示書に基づいての対応は行っておらず、保護者から対応の仕方等を伺っている。今後、必要に応じて医師の指示書をもらい対応を検討していく。 |
|         | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している  | ○ |   |  | 事故発生後、事業所内の関係者で速やかに会議を行い事故時の分析を行っている。会議の内容に関しては、報告書にてまとめ、再発防止に努めている。報告書作成後は全職員への回覧、回覧後はいつでも閲覧しやすいようにファイルにて保管、共有している。                        |  |

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。



保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和 5年 3月 13日

事業所名 療育支援ルーム ボンデイ 保護者等数(児童数)15人 回収数 14 割合 90%

|             |   | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | ご意見  | ご意見を踏まえた対応  |
|-------------|---|---|----|---------------|-----|--|---|
| 環境・<br>体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている                         | 14 |               |     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと広い且つ支援者も増やせれば高学年になっても通所を続けられると思う。</li> <li>・活動の様子を直接見たことはありませんが、連絡帳の様子からは確保されていると思います。</li> </ul>                             | 広い場所で支援を提供したいのですが、現時点では場所の拡大の検討はありません。今の事業所の広さで安全に楽しい活動が提供できるように、工夫していきたいと思います。         |
|             | ② | 職員の配置数や専門性は適切である                                | 14 |               |     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員が増えてほしい。</li> <li>・活動の様子を直接見たことはありませんが、連絡帳の様子からは確保されていると思います。</li> <li>・1人でできることも増え嬉しいことですが、まだ幼さもあり先生とのやり取りが楽しい様です。</li> </ul> | 現時点では、事業所の広さもあり定員増加の予定はございません。定員数を上げず、少人数で細やかな支援ができるように努めて参ります。                         |
|             | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている      | 13 | 1             |     |  |   |
| 適切な<br>支援の  | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている | 14 |               |     | 休校日の受け入れなど、とても助かっています。   | 今後も子どもや保護者のニーズを客観的に捉え、将来を見据えながら今できることを支援していきたいと思います。                                    |
|             | ⑤ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている                         | 14 |               |     | 色々なイベントを開いていただき有難いです。  | 季節の行事だけでなく、日々の活動も固定化さないように考えていきたいです。また、子ども達が様々なことに触れ、経験することで成長を促し、楽しんで通えるように工夫していきたいです。 |

|          |   |   |    |   |    |   |   |
|----------|---|---|----|---|----|---|---|
| 提供       | ⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある                                  |    | 4 | 10 | ・場所柄、難しいのかなと思います。<br>・周辺にそのような施設がない。<br>・今まで希望していなかったから分かりません。<br>・コロナ禍では、仕方ないです。                         | 周囲の環境に、交流できる施設がありませんが、積極的に地域に出て活動できるように努めてまいります。  |
|          | ⑦ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか   | 14 |   |    |   |   |
| 保護者への説明等 | ⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている                        | 14 |   |    | ・連絡帳でいつも詳しく伝えていただいています。<br>・食については課題で成長と共に変化します。食品内容についていつもご配慮いただき有難いです。食を提供する時の対応をご相談し、共通理解が必要であると感じました。 | 子どもの個別での配慮が必要な方に関しては、保護者の皆様と情報共有し丁寧に対応させていただきまします。また、日々の連絡帳や引継ぎの際にも課題や状態について共有できるようにしていきます。 |
|          | ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている  | 14 |   |    | ・助言はどんどんいただきたいです。   | ご相談いただきました内容だけでなく、日々の活動の様子を見て、保護者の皆様と情報共有し、専門的視点を持ってお話しが出来るように努めてまいります。                     |
|          | ⑩ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている                              | 10 | 4 |    | ・勉強会の開催ありがとうございました。<br>・コロナ禍で難しいと思います。<br>・仕事をしていることもあり、なかなか難しいです。  | 勉強会だけでなく、茶話会などを検討し、保護者同士の関わりが持てる場を提供できるようにしていきたいです。   |
|          | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 12 | 2 |    | ・特に苦情を伝えるシチュエーションになっていないので分かりません。<br>・そういう場面はなかった。  | 今年度の苦情はありませんでした。今後、苦情をお受けした際には迅速な対応を心掛けます。  |
|          | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている                                      | 14 |   |    |   |   |



|         |   |  |    |   |  |   |
|---------|---|--|----|---|--|---|
|         | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している | 13 | 1 | アプリの連絡帳が便利で助かっています。  | おたよりの回数を増やし、もう少し頻度高く保護者の皆様に活動の様子が分かるように工夫していきます。<br>また、連絡帳にも写真を添付し、活動中の様子がその日のうちに分かるようにしていきます。            |
|         | ⑭ | 個人情報に十分注意している  | 14 |   |  |   |
| 非常時等の対応 | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている                   | 13 | 1 |  | 契約時にご説明させていただいております。  |
|         | ⑯ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている                               | 11 | 3 |  | 年2回、事業所内で火災と自身を想定した訓練を行っています。<br>また、代表の職員のみでは年2回、ビル全体の総合訓練にも参加しています。                                      |
| 満足度     | ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしている  | 13 | 1 | ・利用日でない日は、不機嫌です。<br>・先生やお友達との関わりをととても楽しみにしています。<br>・バスに乗る姿を見る限り、とても嬉しそうです。   | 今後も引き続き、子ども達が楽しんで通って来てもらえるように、活動内容を工夫していきます。  |
|         | ⑱ | 事業所の支援に満足している  | 13 | 1 | ・子どもや家族に寄り添ったご支援、本当に感謝しています。<br>・細かいところまで支援していただき、本人も楽しく通わせていただき大変有難く思っています。<br>・希望通り受入れていただき、とても助かっています。本人も楽しく過ごしているので嬉しいです。<br>・最大限のご支援を受給させていただいていると思います。こんなに安心して我が子を預けられる場所はありません。 | 引き続き、子どもだけでなく、保護者の皆様にとっても支えになる事業所であるように努めてまいります。<br>情報共有を丁寧に行うことで、保護者の皆様と共通認識で子ども達の将来をイメージできるように努めてまいります。 |

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。